

【問い合わせ先】

第八管区海上保安本部

警備救難部救難課長 井上 芳宏

電話（０７７３）７６－４１００

内線３２５０



平成２３年５月２５日

第八管区海上保安本部

「１１８番」開始から１１年間の受報推移

依然と続く「間違い電話」

海難等の発生時における緊急通報用電話番号「１１８番」は、平成１２年５月１日に運用を開始し、平成２３年５月１日で１１年となりました。

海上保安庁は、緊急通報用電話番号「１１８番」の重要性をより多くの人々に理解していただき、海の安全確保に資するため、平成２３年から１月１８日を「１１８番の日」とし、その周知活動を強化しています。

平成１２年５月１日の運用開始から平成２３年４月３０日までに、第八管区海上保安本部で受報した１１８番の通報総数は２６８，９５６件、このうち、事件・事故等に関する有効通報は、４，０３２件（全体の約１．５％）で、平成２２年は３１５件（約２．１％）、平成２３年（１月から４月）は３７件（約０．７％）でした。

「１１８番」通報による有効通報は、例年３００～４００件前後を推移し、現場からの事件事故情報の早期入手に大きく寄与しています。

有効通報件数は、ほぼ横ばいですが間違い、いたずら、無言等の通報（いわゆる無効通報）の件数が年々減少していることにより有効通報件数の割合が増加しています。

しかしながら、間違い電話は減少傾向にあるものの、未だ８，０００件以上あり依然として多い状況です。

これまでの間違い電話の内容としては、

- ・ ＮＴＴの電話回線の新設や移転等の受付ダイヤル「１１６」や電話番号問合せダイヤル【１０４】等への架電間違い
- ・ 子供が電話機をおもちゃがわりに遊んでいて、間違っただ架電
- ・ 運送会社への問合せ番号（０１２０－１１８ＸＸＸ）の０１２０を省略した「１１８」からの架電
- ・ 市外局番「０１１－８７５（札幌市）」の冒頭の「０」を忘れた「１１８」からの架電
- ・ 警察通報用電話「１１０」、消防機関への緊急通報用電話番号「１１９」への架電間違い

等となっています。

第八管区海上保安本部では、「１１８番」の更なる周知活動を行い、海の事件・事故情報を速報していただけるように、あらゆる機会を捉えて「１１８番」の知名度アップの啓発活動を継続的に実施しています。

添付資料	資料 1	118番通報の内訳（平成12年から平成23年）
	資料 2	118番有効通報件数の内訳
	資料 3	H22.5～H23.4における118番通報の内訳 「118番」通報が功を奏した事例

「118番」とは

海上保安庁は、海上における事件・事故の緊急通報用電話番号として、警察の110番や消防の119番のように覚えやすい局番なしの3桁電話番号「118番」の運用を平成12年5月1日から開始しており、昨年、平成22年5月1日で10周年を迎えました。

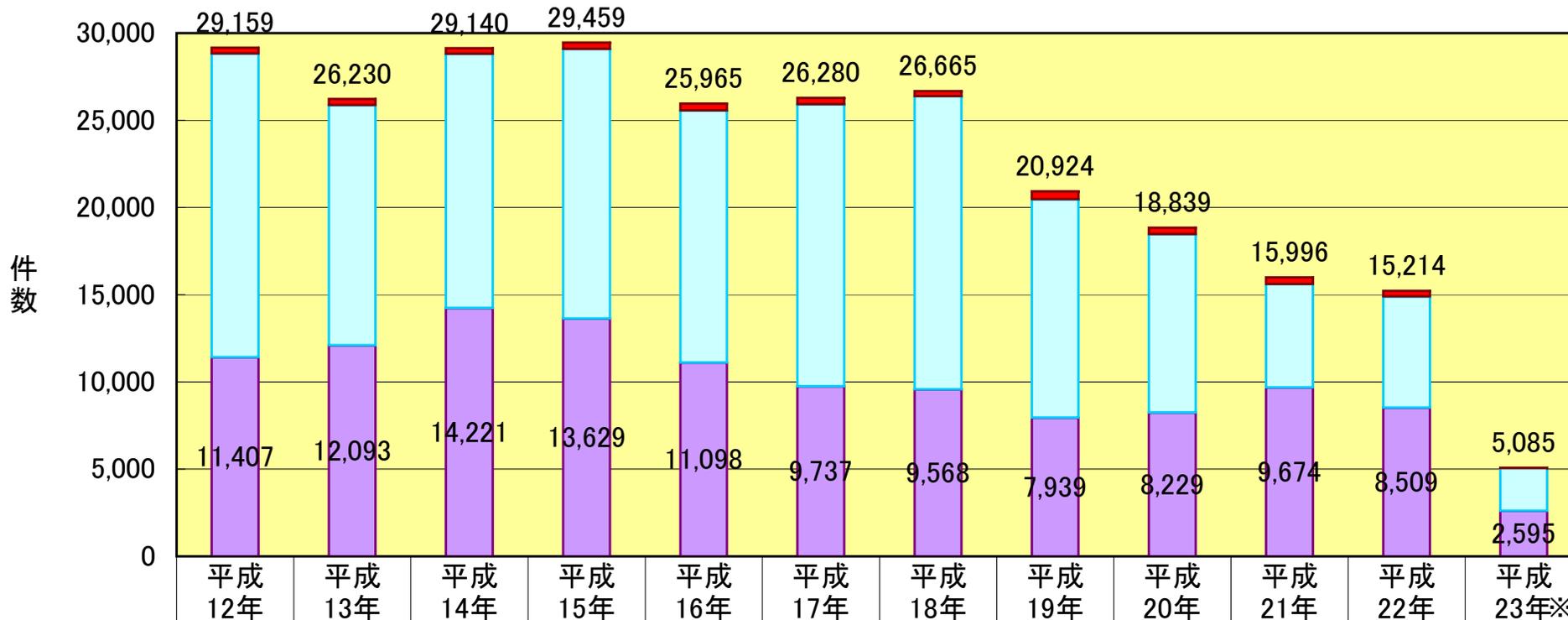
「118番」は、加入電話、公衆電話、携帯電話などから利用できます。

「118番」を、京都府、福井県、兵庫県（北部）、鳥取県、島根県及びその沿岸海域から架電した場合は、第八管区海上保安本部が受報します。

平成19年4月1日からGPS機能付き携帯電話から通報を受けた場合、自動で位置情報が送付される機能も加わり、「118番」通報者が自身の位置を把握できない時などに効果を発揮しています。

118番通報の内訳(平成12年から平成23年)

資料1



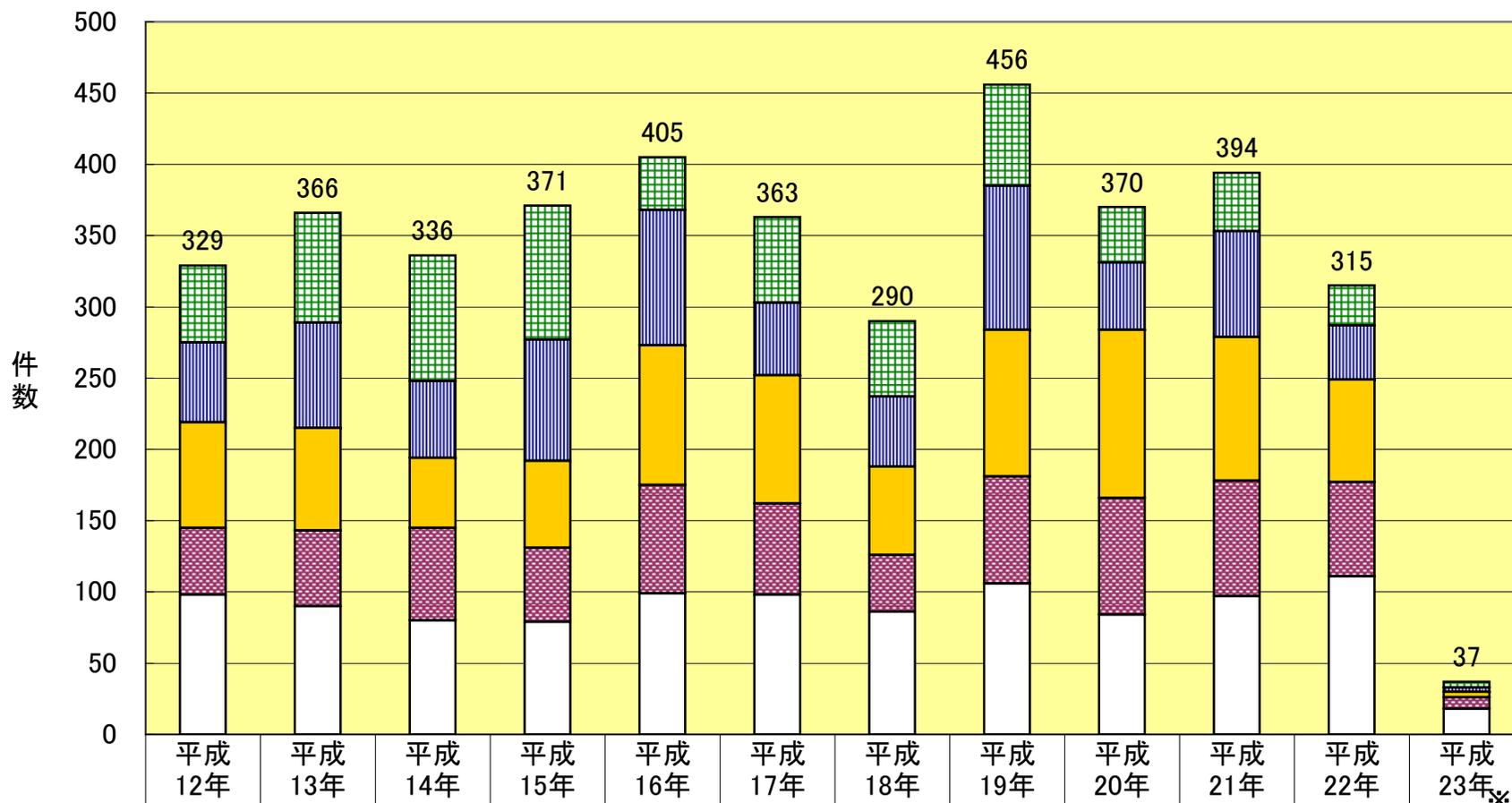
	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年※
通報総数	29,159	26,230	29,140	29,459	25,965	26,280	26,665	20,924	18,839	15,996	15,214	5,085
■有効件数	329	366	336	371	405	363	290	456	370	394	315	37
□イタズラ無言等	17,423	13,771	14,583	15,459	14,462	16,180	16,807	12,529	10,240	5,928	6,390	2,453
■間違い電話	11,407	12,093	14,221	13,629	11,098	9,737	9,568	7,939	8,229	9,674	8,509	2,595

※1月～4月分



118番 有効通報件数の内訳

資料2



	平成 12年	平成 13年	平成 14年	平成 15年	平成 16年	平成 17年	平成 18年	平成 19年	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年 [※]
有効件数 合計	329	366	336	371	405	363	290	456	370	394	315	37
■ その他	54	77	88	94	37	60	53	71	39	41	28	4
■ 航行安全	56	74	54	85	95	51	49	101	47	74	38	3
■ 事件	74	72	49	61	98	90	62	103	118	101	72	4
■ 人身事故	47	53	65	52	76	64	40	75	82	81	66	8
□ 船舶事故	98	90	80	79	99	98	86	106	84	97	111	18

人身事故
 事件
 航行安全
 その他
 有効件数 合計

※1月～4月分

●H22. 5～H23. 4における118番通報の内訳

資料3

第八管区海上保安本部

H22. 5～H23. 4	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	計
通報総数	1,363	1,101	1,300	1,398	1,174	1,261	1,285	1,374	1,290	1,237	1,301	1,265	15,349
有効通報数	22	21	54	60	32	22	18	15	3	10	15	9	281
(割合:%)	1.61	1.91	4.15	4.29	2.73	1.74	1.40	1.09	0.23	0.81	1.15	0.71	1.83
有効でない通報数	1,341	1,080	1,246	1,338	1,142	1,239	1,267	1,359	1,287	1,227	1,286	1,256	15,068
(割合:%)	98.39	98.09	95.85	95.71	97.27	98.26	98.60	98.91	99.77	99.19	98.85	99.29	98.17

●「118番」通報が功を奏した事例

▼ 衝突逃走事件

平成22年8月13日、遊漁船から「経ヶ岬沖約5kmにおいて遊漁中、船名不詳の船に当てられた。同船は停船する気配もなく、そのまま北東方向へ航行して行った」との118番通報があった。

直ちに巡視艇を発動して付近航行中の船舶を検索し、運用司令センターから無線で呼出して状況確認を行ったところ、当該船舶から「当たったかもしれない」との回答があったため同船を停船させ、巡視艇により同船船体の衝突痕を確認した。

▼ 海中転落事故

平成22年4月16日、「兵庫県豊岡市の竹野海岸に釣りに行っていた友人のうち1人が海に落ちた」との118番通報があった。

事故者は釣ポイントに向っている途中に海中転落し、岩に掴っていたが、その後波にさらわれ沖に流された。その状況を目撃していた友人からの連絡を受け118番通報したものの。

直ちに巡視艇及び美保航空基地のヘリコプターを発動させるとともに、保安署が最寄の救難所に出動を要請した。この要請を受けて出動した水難救済会所属船が事故者を発見救助、竹野漁港に搬送し救急車に引渡した。

▼ 機関故障

平成22年8月28日、舞鶴市沖の冠島付近で遊漁を終えたプレジャーボートの船長から、「航行中、機関回転数が急上昇してエンジンが止まった」との118番通報があった。

船長が保有する携帯電話にはGPS機能が装備され、同電話からの118番通報により運用司令センターで位置が確認でき、出動した巡視艇が直ぐ該船と会合し、舞鶴港向け曳航救助を行った。

▼ 転覆事故(福井県警察本部110番指令との連携)

平成22年10月11日、小浜湾内において、2人乗りの手漕ぎボートが錨揚げ作業を実施中に船体が大きく傾き転覆、乗船者2名はボートとともに岩場まで流された。

付近散歩中の目撃者が、岩にしがみついている同人等を見出し警察に通報、警察から118番通報がなされ、出動した巡視艇の搭載艇にて救助された。